ORION
進化したジェットヒーター
JET HEATER
SINCE 1965

取扱説明書

業務用油だき可搬形ヒータ・熱風式直火形

オリオンジェットヒーターＨＰ

HPS830A1

－ もくじ －

はじめにお読みください……2
安全のために必ずお守りください……3
本体警告ラベル貼付位置……9
各部のなまえ……10
使用前の準備と確認……11
使い方……13
点検・手入れのしかた……17
定期点検……21
異常のとき……22
保管のしかた……24
消耗部品……25
廃棄について……25
アクセサリー（別売品）……26
アフターサービス……26
仕様……27
点検・修理依頼シート……28
点検・修理依頼シート記入例……29

⚠

- この機械は物の加温、乾燥を目的とした「業務用」ヒーターです。
- 異常燃焼時等はすすなどが付着する可能性があるので汚れて問題（損害）になるものの乾燥には熱交換式ヒーターを推奨します。（☛P.6 参照）
- 家庭用として使わないでください。
- 火力が強いので、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- この取扱説明書をよく読んでヒーターを正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管しておいてください。

巻末が保証書となっています。大切に保管してください。

03114735010

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項は、⚠ **危険**　⚠ **警告**　⚠ **注意**に区分して表示してあります。

⚠ **危険**　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの**

⚠ **警告**　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの**

⚠ **注意**　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの**

また、⚠ **注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
・取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
・お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく使用者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合はやけど注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は改造禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
重要事項	▬ 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。
☛	☛ 記号は、詳細・関連情報の参照先を示します。

■機構および仕様等は予告なく変更する場合があります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（危険）

この章に記載する事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための安全上の重要事項です。この製品を使用する前にお読みになり、必ずお守りください。

⚠ 危険

	ガソリン厳禁 灯油（JIS1 号）を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。**爆発、火災の原因になります。**
	可燃性ガスおよび引火性液体厳禁 可燃性ガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPG など）を使用しているところや置いてあるところでは、ヒーターを絶対に使用しないでください。**爆発、火災の原因になります。**
	換気必要 使用中は 1 時間に 1～2 回必ず換気してください。換気せずに使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、**一酸化炭素中毒の原因になります。** **密閉された空間での使用厳禁** 新鮮な空気が常に供給できるように、空気取入口や排気口を必ず設けてください。換気が十分行われない場所で使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、**一酸化炭素中毒の原因になります。**
	改造厳禁 改造は絶対にしないでください。製品故障の原因になるばかりでなく、**火災・やけど・不完全燃焼による中毒など、重大な事故の原因になります。**

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（警告）

⚠ 警告

変質灯油、不純灯油使用厳禁

変質灯油や不純灯油は使用しないでください。**異常燃焼や火災の原因になります。**

スプレー缶厳禁

スプレー缶など密閉容器を暖めたり、熱風の当たるところに放置しないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、**爆発の原因になります。**

可燃性粉塵厳禁

可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くず、鉄粉など）が発生するところでは使用しないでください。ヒーターに吸い込まれると、加熱され火の粉になって噴き出され**火災の原因になります。**

水のかかるところ、湿気の多いところでの使用禁止

本製品は屋内仕様です。雨水、雪などのかかるところおよび湿気の多いところでは使用しないでください。また、濡れた手で操作しないでください。**故障や感電、火災の原因になります。**

ダクト直接接続厳禁

熱風吹出口に直接ダクトを接続しないでください。**異常燃焼や火災の原因になります。**

空気取入口および熱風吹出口をふさがない

空気取入口や熱風吹出口をふさがないでください。また、周囲のシート等が空気取入口に貼り付かないように注意してください。**異常燃焼や火災の原因になります。**

電源コードを破損させたり加工しない

電源コードに重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、はさみ込んだりまたは加工しないでください。電源コードが破損し、**感電や火災の原因になります。**

車両への据え付け、積載したままでの使用禁止

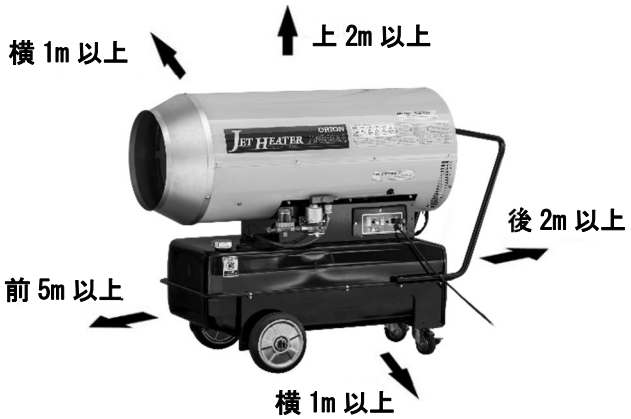
車両への据え付けや積載したままで使用しないでください。故障や火災の原因になります。

回転物に注意

運転中、内部の送風ファン高速で回転しています。外筒カバー、保護網を絶対に開けないでください。送風ファンに触れると**ケガの原因になります。**

可燃物に注意

ヒーター周囲の天井、壁面等の可燃物との距離は、下図の距離を確保してください。**火災の原因になります。**



安全のために必ずお守りください

使用上の注意（警告）

⚠ 警告

	正常燃焼の確認 使用するたびに正常に燃焼していることを確認してください。(「点検・手入れのしかた」☞17 ページ「参照）炎の飛び出し、におい、すすの発生など異常を確認したときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用を継続すると、**ヒーター本体の焼損や火災の原因になります。**
	点検、手入れ時、電源プラグを抜く 点検、手入れ時およびアクセサリー（別売品）の取り付けの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電や送風ファンによる**ケガの原因になります。**また、空気取入口の保護網が変形、破損した場合は使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）

⚠ 注意

使用上の注意をお守りいただけないと、下記のような事故につながるおそれがあります。

事故事例

●衣類にすすが付着
ヒーターを衣類の乾燥に使用中、異常燃焼が発生し、大量のすすが発生。衣類がすすまみれになり、廃棄せざるを得なくなった。

●高温環境での使用による焼損
使用温度条件（40℃）を超える環境でヒーターを使用した結果、過熱防止装置の配線が溶けて短絡。ヒーターの温度が上昇しても過熱防止機能が働かずヒーターが焼損した。

●可燃物の近くでの使用による火災
トラックの荷台でシンナー・ガソリンを積載し、ヒーターを使用。火がガソリン缶に燃え移り、トラックごと全焼した。

●密閉空間での使用による焼損
密閉された塗装乾燥炉内にヒーターを設置し、室内の加温に使用。換気不良によりヒーターが焼損した。

●熱風の逆流による故障と火災
乾燥室に金属ダクトでヒーターを直接接続。乾燥中の割り箸が発火し、工場が全焼した。

●不適切な設置による焼損
ヒーターの車輪を外し、純正ではないオイルレベラーを使用して塗料乾燥に使用。周囲に可燃物が置かれており、引火して工場が全焼した。

●熱風の逆流によるヒーターの焼損
ヒーターの放熱パネルのすぐ近くで鋳物を乾燥。熱風がヒーター側に逆流し、ヒーターが焼損した。

振動の激しいところや水平でないところでの使用禁止

振動がなく水平な場所で使用してください。振動が激しい場所や水平でない場所で使用すると、ヒーターが移動したり転倒したりして、**火災の原因になります。**

通路や子供のいる場所での使用に注意

階段、避難口および部屋の出入口などでは使用しないでください。人がぶつかり、**やけどなどの事故の原因になります。**また、子供のいる場所では、ガードを設置したり管理者をおくなどして、特に安全管理に注意してください。

風に注意

風の強い場所では使用しないでください。可燃物が熱風吹出口付近に飛来すると、**火災の原因になります**。また、飛来物が空気取入口に貼り付くと、**異常燃焼の原因になります。**

腐食性ガスに注意

腐食性ガスの発生するところでは使用しないでください。製品の故障や漏電による、**感電、火災の原因になります。**

使用例	代表的な腐食性物質
塗装・メッキ工場	塩酸・硫酸・フッ酸・リン酸・クロム酸・ベンゼン・トルエン・キシレン
プール	塩素
畜産	アンモニア・次亜塩素酸ナトリウム・塩酸・赤リン

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）

⚠ 注意

磁気や高周波に注意

磁気や高周波の強い場所では使用しないでください。予期せぬ製品の誤動作等により**火災等のおそれがあります。**

点火操作の繰り返し禁止

燃料切れ以外で点火操作を 3 回繰り返しても点火しない場合は、それ以上操作をしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。点火操作を 4 回以上繰り返して点火したときには、熱風吹出口より炎や煙が出ることがあります。また、**火災の原因になります。**

電源プラグでの消火禁止

電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。また、冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。冷却が不完全となり、**火災、やけど、焼損の原因になります。**

運転中の移動禁止

運転中は移動しないでください。やけどのおそれがあります。転倒すると**火災の原因になります。**

灯油を入れたまま保管、廃棄しない

保管および廃棄するときは、必ず油タンクを空にしてください。温度変化で空気が結露して油タンク内に水がたまり、油タンク底に錆が発生します。油タンクの腐食による穴あきで、油タンク内の灯油が漏れて**環境汚染や火災の原因になります。**また、長期間保管した灯油は変質し、それを使用すると**不完全燃焼の原因になります。**

点火操作後の熱風吹出口接近禁止

点火操作後、熱風吹出口をのぞき込まないでください。**やけどのおそれがあります。**

標高の高いところでの使用禁止

標高 1000m 以下で使用してください。1000m を超える場所で使用すると、燃焼空気量不足により**異常燃焼の原因になります。**

やけどに注意

燃焼中や消火直後は、外筒コーンなどは高温になっています。燃焼中および消火後 30 分間は手を触れないでください。**やけどのおそれがあります。**

電源に注意

電源電圧は AC100±10V の範囲内で使用してください。AC200V 電源には絶対に接続しないでください。バーナーコントローラが故障します。また、タコ足配線はしないでください。**故障や感電、火災の原因になります。**

動物飼育施設での使用に注意

下記内容が想定されますので、特に注意して使用してください。

・敷きワラ、オガ粉等の可燃物は火災のおそれがありますので、特に注意してください。

・換気が不十分になると**酸欠や一酸化炭素中毒により家畜が死亡するおそれがありますので**、使用中は 1 時間に 1～2 回換気をしてください。

・安全装置の作動などによりヒーターが自動消火し**家畜が凍死**する場合も想定されますので、使用中は定期的に運転状態を確認してください。

・家畜がヒーターを倒したり壊す等して、**火災の原因**になったり、家畜が長時間温風にあたり**低温やけどや脱水症状**になるおそれがありますので、家畜がヒーターに近づきすぎないように、柵などの施設を設置してください。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）

⚠ 注意

周囲温度に注意

周囲温度は-20～40℃の範囲で使用してください。40℃を超える温度で使用するとヒーターが過熱して、**火災の原因になります。**

給油時消火

給油時は必ず消火し、ヒーターが十分に冷えてから行ってください。高温のとき（送風ファンが自動停止する前）に給油すると**火災・やけどの原因になります。**

運転スイッチの切り忘れに注意

サーモスタット、タイマを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。（サーモスタット、タイマはアクセサリー（別売品））ヒーターを使用しないときは、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。**火災の原因になります。**

サーモスタット感温部設置場所に注意

サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部は温風が直接当たる所に置かないでください。頻繁にON（燃焼）／OFF（消火）を繰り返し、故障の原因になります。

自動車運搬時に注意

自動車に積載して運搬するときは、灯油を抜き、転倒防止の処置を行ってください。転倒や振動により油タンク内の灯油が漏れると**火災の原因になります。**

点検時保護手袋着用

ヒーターの清掃や炎検出器の点検の際は、**ケガの防止のため**、軍手などの保護手袋を着用して作業してください。

燃焼状態は離れて確認する

燃焼状態の確認は、やけどなどの事故を防止するため、ヒーターから3m以上離れて行ってください。

電源コードは先端のプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、芯線の一部が断線して、**発熱・発火などの原因になります。**

消火の確認

消火をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。火がついたままだと、**火災の原因になります。**

持ち上げ移動する場合は二人作業で行う

ヒーターを持ち上げて移動する場合は、灯油を抜き、油タンク、把手を持ち、二人以上で行ってください。一人作業で行うと**ケガの原因になります。**

延長コードは許容電流を確認し、正しく使用する

延長コードを使用する場合は、許容電流を確認してください。（「延長コードを使用する場合」☞15ページ参照）また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。**発火・発熱などの原因になります。**

使用時以外は電源プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による**感電や漏電火災の原因になります。**

アースは必ず接地する

ヒーターを使用するときはアースコードを必ず接地してください。（「点火のしかた」☞13ページ参照）**感電の原因になります。**

本体警告ラベル貼付位置

本体警告ラベル貼付位置

次の警告ラベルは、警告事項の中から特に重要なものとして厳選されておりヒーター本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みください。また、汚れ、傷などで見えにくくなった場合には、お買い上げの販売店に連絡し、新しいものに貼り替えてください。（有償扱いとなります。）

⚠警告 **家庭用として使わないでください。**

ジェットヒーター HP 用

1. この機械は物の加温、乾燥を目的とした「業務用」ヒータです。
2. 家庭用として使わないでください。
   火力が強いので、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

03103871010

⚠注意 **点火操作の繰り返し禁止**

ジェットヒーター HP 用

燃料切れ以外で、点火操作を３回繰り返しても点火しない場合は、それ以上操作をしないでください。点火操作を４回以上繰り返して点火した時には、熱風吹出口より炎が出ることがあります。また火災の原因にもなります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

04104305010

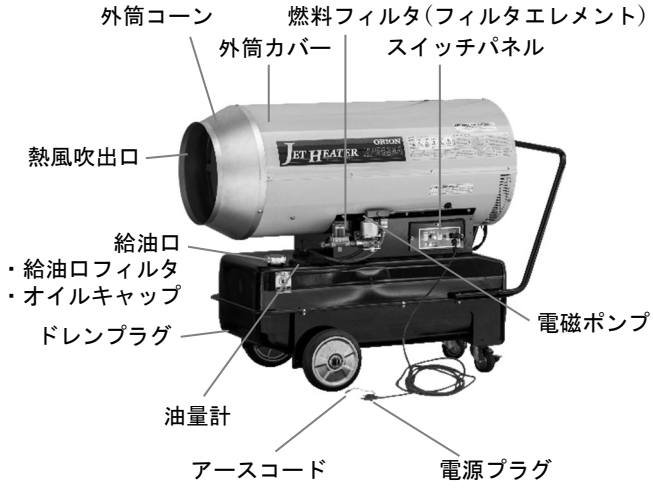
各部のなまえ

外観

外観

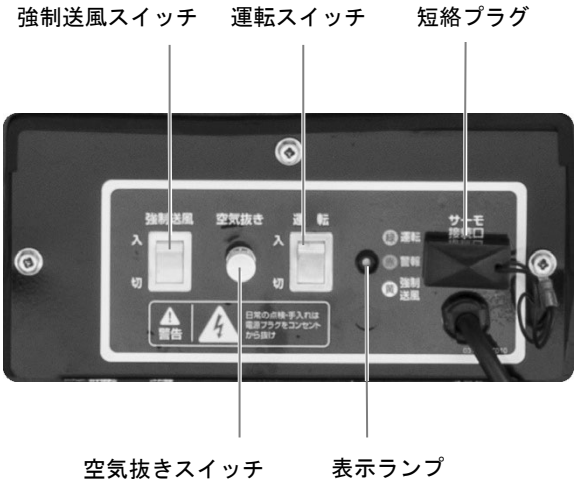
■外観

前面

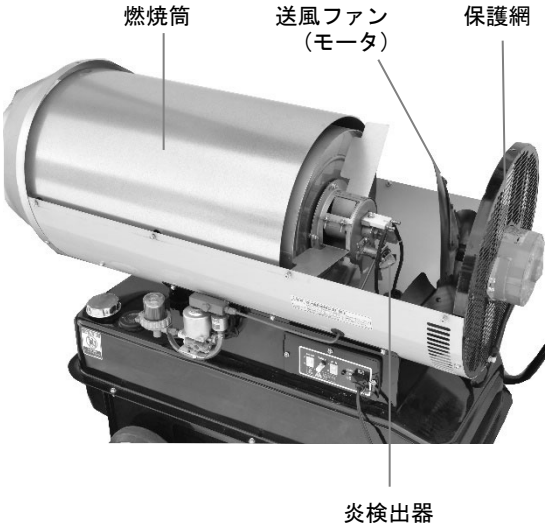


裏面

■スイッチパネル



■外筒カバーを開けると



使用前の準備と確認

使用する場所／燃料

使用する場所

「安全のため必ずお守りください」をよくお読みになり、使用する場所には特に注意してください。

燃料

⚠ 危険

●灯油（JIS1 号）を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発、火災の原因になります。

⚠ 警告

●変質灯油や不純灯油は使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

●使用燃料について

1. **燃料は JIS1 号灯油を使用する。**
2. **変質灯油や不純灯油は使用しない。**

●変質灯油とは

・古い灯油（昨シーズンより持ち越した灯油）
・日光の当たる場所で長期間保管したもの
・温度の高い場所で長期間保管したもの

●不純灯油とは

・灯油以外の油（ガソリン、シンナー、機械油重油など）が混入したもの
・水やゴミが混入したもの

●変質灯油、不純灯油が入っているとき

・油タンク内の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油と入れ替えてください。（「油タンクの掃除（水抜き）」☛19 ページ参照）

使用前の準備と確認

点火前の準備／給油のしかた

点火前の準備

1. **木枠からヒーターを取り出す。**
   ・ヒーター各部の梱包部材やチラシをすべて取り除く。
   ・使用地域の周波数とヒーター本体の仕様プレートに記載されている周波数が同じことを確認する。
2. **据え付ける。**
   ・水平な場所に置く。
   ・ヒーターの近くに燃えやすいものが置いてないか確認する。

給油のしかた

⚠ 注意

●給油時は必ず消火し、ヒーターが十分に冷えてから行ってください。高温のとき（送風ファンが自動停止する前）に給油すると火災・やけどの原因になります。

---

1. **オイルキャップを外す。**
2. **油量計の目盛を確認しながら給油する。**
   ・給油口フィルタは外さずに給油してください。タンク内にゴミ等が入りますと送油回路の詰まりの原因になります。
   ・いきおいよく給油すると給油口から灯油があふれることがあります。給油はゆっくりと行ってください。
   ・油量計の目盛は、「F」を超えて給油しないでください。灯油があふれます。
3. **給油が終わったらオイルキャップを確実に締め付ける。**

使い方

点火のしかた

点火のしかた

⚠ 注意

●電源電圧は、AC100±10V の範囲で使用してください。AC200V 電源には絶対に接続しないでください。バーナーコントローラが故障します。また、タコ足配線はしないでください。故障や感電、火災の原因になります。

●アースコードは必ず接地して使用してください。感電の原因になります。

●燃料切れ以外で点火操作を 3 回繰り返しても点火しない場合は、それ以上操作をしないでください。点火操作を 4 回以上繰り返して点火したときには、熱風吹出口より炎や煙が出ることがあります。また、火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

---

1. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込む。

・運転ランプが赤色に点灯（停電安全装置作動）した場合は、運転スイッチが「入」になっています。運転スイッチを「切」にした後、点火操作をしてください。

・表示ランプが赤色に点滅していないことを確認してください。

2. 電源プラグから出ているアースコードを接地してください。

3. 運転スイッチを「入」にする。

4. 約 10 秒後に点火します。

・お買い上げ後初めての運転時や燃料切れした給油後の運転時は、運転スイッチ「入」後電磁ポンプから「ガチャガチャ」と音がして点火安全装置が作動し表示ランプの赤色が 4 回もしくは 6 回点滅、対震自動消火装置が作動して表示ランプの赤色が 6 回点滅します。この場合は、空気抜きのしかた（☛P.14）を参照し、点火してください。（油タンク内の灯油が少量でヒーターを運搬、移動した場合にも、同様な現象となる場合があります。）

重要事項

●電源電圧が異常に高い場合は、表示ランプが赤色に点滅します。即座に電源プラグをコンセントから抜いてください。警報が出ても、ヒーターには過電圧が印加されたままになっています。

●燃料切れによる消火時や、燃料切れした給油後の運転時には、熱風吹出口から炎が飛び出したり、油滴が飛び出す場合がありますので、注意してください。炎や油滴の飛び出しを防止するためには、燃料切れをおこす前に給油してください。

●点火時のにおいや黒煙は、異常ではありません。

使い方

空気抜きのしかた／消火のしかた

空気抜きのしかた

次のようなときは、運転スイッチを「入」にしても電磁ポンプから「ガチャガチャ」と音がして、点火しないことがありますので空気抜きを行ってください。

・お買い上げ後、はじめて運転したとき
・油タンク内に少量の灯油しか入っていない状態で、運搬、移動したとき
・油タンクが「空」になり、あらたに灯油を給油したとき
・配管中に空気が入ったとき

1. **運転スイッチを「入」にする。**
2. **約 10 秒後に電磁ポンプが動きだします。「ガチャガチャ」という音がします。**
3. **空気抜きスイッチを押す。**
   透明ホースを流れる灯油中に気泡が無くなったら、空気抜きスイッチを離す。

消火のしかた

⚠ 注意

●電源プラグを抜いて消火しないでください。また、冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。冷却が不完全となり、火災、やけど、焼損の原因になります。
●燃焼中や消火直後は、外筒コーンなどは高温になっています。燃焼中および消火後 30 分間は手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

---

1. **運転スイッチを「切」にする。**
2. **約 3 分間冷却運転を行った後、自動停止します。**

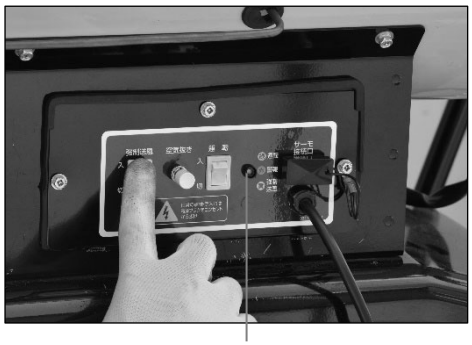
使い方

強制送風のしかた／ダクトを使用する場合

強制送風のしかた

燃焼をさせないで送風のみ必要な場合に使用してください。

強制送風スイッチを「入」にしてください。
表示ランプが黄色に点滅し送風します。



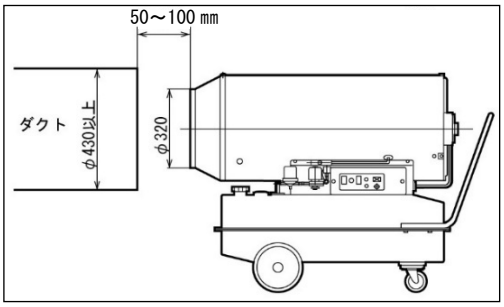
表示ランプ

ダクトを使用する場合

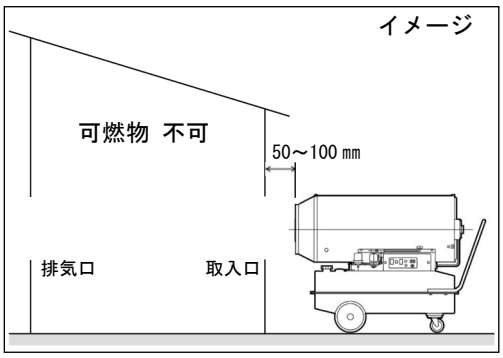
⚠ 警告

●ダクト径を絞ったり、密着させたりすると不完全燃焼し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
●ダクト周囲の 2m 以内に可燃物を置かないでください。火災の原因になります。

1. **ダクトを使用する際は、下記事項を厳守する。**
   ・ダクトは熱風吹出口より必ず 50～100㎜ 離して使用してください。
   ・ダクトはヒーター径よりも太い径で、**不燃性の材料のものを使用してください。**



2. **乾燥室や乾燥炉（チャンバー）などに直接、熱風吹出口を入れないでください。**
   ・熱風吹出口より必ず 50～100㎜ 離して使用してください。



使い方

移動のしかた／延長コードを使用する場合

移動のしかた

⚠ 注意

●運転中は移動しないでください。やけどのおそれがあります。転倒すると火災の原因になります。

1. **把手を持ち移動してください。**
2. **移動したら、写真のように必ずキャスタが動かないようにロックしてください。**

延長コードを使用する場合

⚠ 注意

延長コードを使用する場合は、許容電流を確認してください。また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。発火、発熱などの原因になります。

1. 延長コードを使用する場合は、次の表を目安にしてください。

延長コードの長さ	30m	60m	90m	120m
コードの公称断面積	2mm²	3.5mm²	5.5mm²	8mm²

点検・手入れのしかた

使うたびに

⚠ 警告

●運転状態の確認、対震自動消火装置の作動確認を除き、点検・手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や、送風ファンによるケガの原因になります。

⚠ 注意

●燃焼中や消火直後は、外筒コーンなどは高温になっています。燃焼中および消火後 30 分間は手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
●ケガ防止のため、点検・手入れの際は、軍手などの保護手袋を着用してください。

使うたびに

⚠ 警告

●異常が認められた時は、ヒーターの使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用すると、ヒーター本体の焼損や火災などの原因になります。

⚠ 注意

●燃焼状態の確認は、やけどなどの事故を防止するため、ヒーターから 3m 以上離れて行ってください。

---

1. **運転前の確認**
   ・ヒーター周囲の可燃物との距離は確保されているか。また、スプレー缶などが無いか必ず確認してください。
   ・ヒーター本体や、油タンク、ヒーター周囲に油漏れや油漏れの形跡が無いか確認してください。
   ・外筒の塗装に変色（焼け）が無いか確認してください。変色があるとヒーター内部に異常があるおそれがあります。
2. **燃焼状態の確認**
   燃焼中に次の異常が無いか確認してください。
   ・臭いがする。
   ・熱風吹出口から頻繁に炎が飛び出す。
   ・熱風吹出口から時々すすが出る。
   ・熱風吹出口から時々油滴が飛び出す。
   ・熱風吹出口から油ダレしたり、床に油が垂れたしみがある。
   ・炎が大きくなったり、小さくなったりする。または消火・着火を繰り返す。
   ・異常音や異常振動する。

重要事項

●異常燃焼や油ダレがある場合は、電源プラグを抜かないでください。運転スイッチを切り約 3 分間の冷却運転が終わってから電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いて消火すると、送風ファンによる冷却運転ができないためヒーター内部が高温になり、内部の垂れた灯油に引火し、本機の焼損や火災のおそれがあります。

点検・手入れのしかた

1ケ月に1回以上

1ケ月に1回以上

1. 対震自動消火装置の点検

・対震自動消火装置が作動することを確認してください。

■対震自動消火装置の作動確認のしかた

(1)把手を持ち、ヒーターを水平にゆする。

(2)対震自動消火装置が働き、消火することを確認する。

2. フィルタエレメントの点検

・フィルタケース内のフィルタエレメントを確認し、汚れているときは、フィルタエレメントの掃除をしてください。

・汚れが著しいときは、新品のフィルタエレメントと交換してください。(フィルタエレメントのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください)

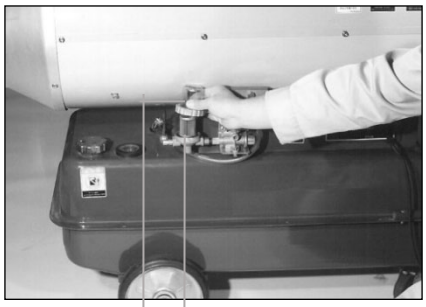
■フィルタエレメントの掃除のしかた

(1)フィルタケースの固定リングをゆるめフィルタケースを外す。

(2)フィルタエレメントを外し、灯油で洗う。

(3)元通りに組み立てる。

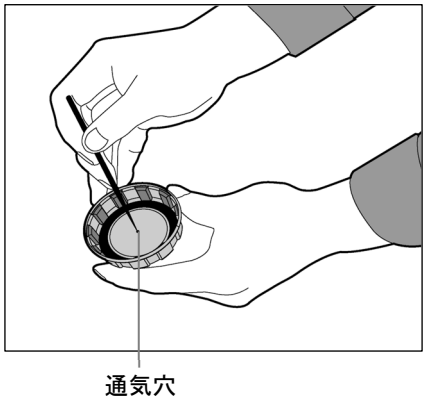
・固定リングは手で確実に締め付けてください。



3. オイルキャップ通気穴の点検

・オイルキャップを外し、通気穴が詰まっていないか確認してください。

・詰まっているときは、針金などでゴミを取り除いてください。



点検・手入れのしかた

1 シーズンに 2～3 回

1 シーズンに 2～3 回

1. 油タンクの掃除（水抜き）

・ヒーター保管時は必ず油タンクの掃除を行ってください。

・また、フィルタケース内に水が溜まっていたり、フィルタエレメントにゴミの付着が多い場合も同様に掃除を行ってください。

■油タンクの掃除（水抜き）のしかた

(1) 油タンク内の灯油を、給油ポンプで抜く。

(2) 油タンクのドレンプラグの下に油受けを置く。

(3) ドレンプラグを外し、残った灯油をゴミや水とともに抜く。

(4) ドレンパッキンが破損していないことを確認して、ドレンプラグと一緒に確実に締め付ける。

油受け

2. 燃焼状態の確認（炎の飛び出し、すすの発生）

・粉塵等が多い使用環境によっては送風ファンに汚れが付着し、炎の飛び出し、すすの発生等の不完全燃焼になります。燃焼状態の確認（☞17 ページ参照）を行い、異常の場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

3. 炎検出器の掃除

・「炎検出器の掃除のしかた」☞20 ページを参照し、炎検出器の掃除を行ってください。

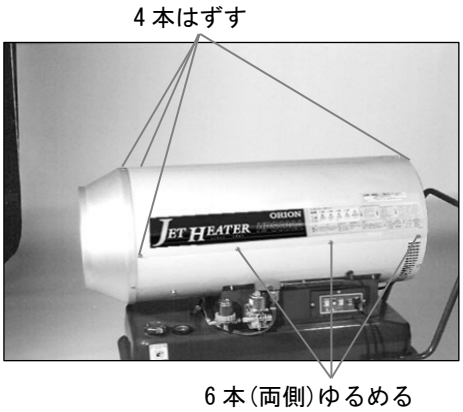
4. 電源プラグの点検

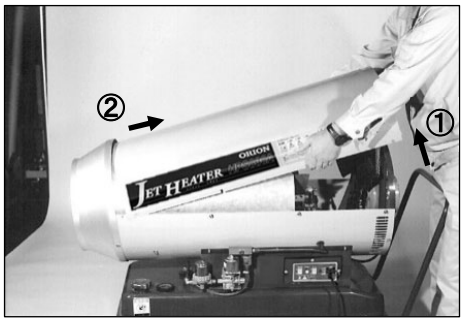
・電源プラグにほこりが付着してないか確認する。

・電源プラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除く。

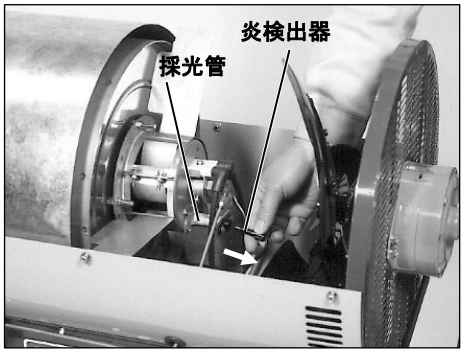
炎検出器の掃除のしかた

1. 外筒カバーを固定している 10 本のネジのうち、4 本はドライバにて取りはずし、残りの 6 本はゆるめて、写真の手順で外筒カバーをはずす。

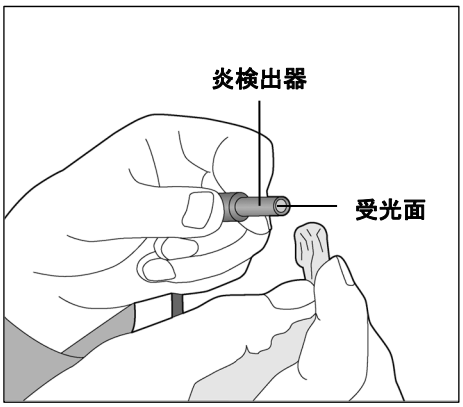




2. 炎検出器を採光管より抜く。



3. 炎検出器の受光面のすす、ほこり等を取り除く。柔らかい布または綿棒等で受光面についているすす、ほこり等を取る。
   ※炎検出器が入っている採光管先端部の穴が、ほこりでつまっているときは、掃除してください。
4. 炎検出器を元通りに差し込む。この時、炎検出器の凸部と採光管側の凹部を合わせること。
5. 外筒カバーを取り付ける。



定期点検

長時間ご使用になりますと機器の点検が必要です。点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。未然に事故を防止するため定期点検を依頼してください。（有償となります）

■実施時期

2 シーズンに 1 回程度シーズン初めやシーズン終了時に定期点検を依頼してください。特に、使用時間が長い場合や、ほこりの多いところ、湿度の高いところなどでご使用の場合は、1 シーズンごとの点検が必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ご依頼先

お買い上げの販売店

■定期点検の内容

1. 設置状態の点検・確認
2. 安全装置および運転状態の点検・確認
3. 環境や使用時間により劣化しやすい部品の点検・確認など
4. 製品の清掃・整備

■定期点検費用

定期点検の費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処理内容および費用についてお客様にご相談申し上げます。

異常のとき

故障・異常早見表

⚠ 警告

●次の表に従って確認や処置を実施しても改善しない場合や、原因が不明な場合は、ヒーターの使用やめ、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用すると、火災などの原因になります。

故障･異常早見表

現象 / 原因	ヒーターの状態					表示ランプ（赤色）		
						点滅回数		
	操作を受け付けない	点火不良・途中消火する	表示ランプの赤色が点滅する	表示ランプの赤色が点灯する	異常な燃焼状態（炎の連続的な飛び出し、においがする、黒煙の吹き出しなど）	2 途中消火	3 対震自動消火	4 点火ミス
・電源プラグがコンセントから抜けている ・電気が来ていない	●							
・停電があった ・運転スイッチ「入」で電源プラグをコンセントに差し込んだ				●				
・ヒーターが傾いている ・地震や強い衝撃があった ・お買い上げ後、初めて使用した ・油タンク内の灯油が少量で運搬、移動した ・油タンクに灯油がない ・ヒーター移動直後に運転スイッチを「入」にした ・感震器の故障（断線）		●	●				●	
・バーナーの異常過熱 ・周囲温度が 40℃を超えている ・停電でヒーター内部が過熱 ・送風ファンの回転異常 ・空気取入口にシートなどが貼り付いた		●	●					
・変質灯油、不純灯油の使用		●	●		●	●		●
・フィルタエレメントの詰まり ・オイルキャップ通気穴の詰まり ・灯油配管の外れ ・電磁ポンプの故障 ・ノズルの詰まり		●	●			●		●
・油タンクに灯油がない		●	●			●		●
・換気が不足している ・標高 1000m を超えた場所で使用している		●	●		●	●		●
・風のあるところで使用している		●	●		●	●		●
・電源電圧が高いまたは低い		●	●		●			
・運転開始前に燃焼室内に炎がある ・炎検出器の故障（短絡） ・燃焼室内に太陽が差し込んでいる		●	●					
・炎検出器の受光面が汚れている ・炎検出器の故障（断線）		●	●			●		●
・過負荷保護装置(ヒューズ）が作動 （運転ランプも点灯しない）	●							

異常のとき

故障・異常早見表

⚠ 注意

●再点火操作は繰り返し 4 回以上行わないでください。異常のまま使用すると、火災などの原因になります。
●確認や処置の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電や送風ファンによるケガの原因になります。

表示ランプ（赤色）						処置の方法
点滅回数					点灯	
5	6	7	連続(0.3秒点滅)	連続(1秒点滅)		
過熱防止	不着火	疑似火炎	高電圧警報	低電圧注意	停電安全	
						・元電源、電源プラグの差し込みを確認する
					●	・異常がないことを確認して再点火する ・運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする
						・水平な場所に移動する ・異常がないことを確認して再点火する ・運転スイッチを「切」にし、点火操作を 2～3 回繰り返す ・運転スイッチを「切」にし、点火操作を 2～3 回繰り返す ・給油する ・約 10 秒待ってから運転スイッチを「入」にする ・販売店に連絡する
●						・販売店に連絡する ・周囲温度 40℃以下で使用する ・ヒーター内部が冷えてから再点火する ・販売店に連絡する ・シートなどを取り除く
	●					・油タンクを掃除し、きれいな灯油を使用する
	●					・フィルタエレメント掃除 ・オイルキャップ通気穴の掃除 ・灯油配管の締め付け ・販売店に連絡する ・販売店に連絡する
	●					・給油する
●	●					・換気を十分にする ・標高 1000m 以下で使用する
●	●					・風のある場所で使用しない
			●	●		・電源電圧を確認する ・電源電圧 100V で使用する
		●				・燃焼室内に炎がないことを確認し、販売店に連絡する ・販売店に連絡する ・燃焼室内に太陽光が差し込まないようにヒーターの向きを変える
	●					・炎検出器の受光面を掃除する ・販売店に連絡する
						・販売店に連絡する

異常のとき

安全装置一覧

安全装置一覧表

装置のなまえ	はたらき
対震自動消火装置	強い地震や衝撃を受けたときに自動消火します。
点火安全装置	点火ミス、途中消火、燃料切れ、異常燃焼のときに自動消火します。
停電安全装置	停電後に復電しても、運転開始することを防止します。
過熱防止装置	ヒーター内部が異常過熱したときに自動消火します。
過負荷保護装置（ヒューズ）	過電流が流れたときに電気回路をしゃ断し、運転停止します。雷による異常な高電圧、大電流から電気回路をしゃ断してバーナーコントローラを保護します。
高電圧停止装置	電源電圧が異常に高いときに運転停止し、警報を出します。
低電圧警報装置	電源電圧が異常に低いときに警報を出します。（運転は停止しません）

※安全装置作動時は、「故障・異常早見表」（☞22、23 ページ参照）に従って、確認および処置をしてください。

保管のしかた

⚠ 注意

●灯油を入れたまま保管しないでください。油タンクの腐食による穴あきで、油タンク内の灯油が漏れて環境汚染や火災の原因になります。また、長期間灯油を保管すると変質し、それを使用すると不完全燃焼の原因にもなります。

---

1. **電源プラグをコンセントから抜く。**
2. **油タンク内の灯油を抜く。**
   ・「油タンクの掃除のしかた（水抜き）」（☞19 ページ参照）に従って灯油を抜いてください。灯油を抜かないと、溜まった水により油タンクが錆びて穴あきの原因になります。
3. **ヒーター本体のほこりや汚れを取り除く。**
4. **シート等をかけて湿気の少ない屋内で保管する。**
   ・雨水がかかる、あるいは湿気の多いところには保管しないでください。

消耗部品

定期交換部品／点検交換部品

定期交換部品（指定された時期に定期的に交換する部品）

No.	部品番号	部品名称	員数／台	交換時期※
1	80000004560	フィルタエレメント	1	1 シーズンごと
2	36100111630	ノズル	1	3 シーズンごと

※交換時期は、一般的な使用条件における予防保全（使用中の故障を未然に防止するために計画的に行う部品交換等）としての目安です。
※交換時期は保証期間ではありません。また、製品の使用環境、運転条件等により、交換時期前に交換が必要となる場合があります。
※ノズルの交換は、専門技術を要しますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

点検交換部品（点検時の消耗、劣化状態に応じて交換する部品）

No.	部品番号	部品名称	員数／台	点検時期	交換判定基準
1	03038258010	給油口フィルタ組立	1	1 シーズンごと	破損の有無
2	03041199010	オイルキャップ組立	1	1 シーズンごと	破損の有無
3	03040820010	点火棒	1	1 シーズンごと	消耗・変形の有無
4	03A30857010	モータ	1	1 シーズンごと	異音の有無・回転の状態
5	0A001253000	電磁ポンプ	1	1 シーズンごと	異音の有無・油量の減少

※上記部品（No.3、4、5）の交換は、専門技術を要しますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

廃棄について

製品を廃棄するときは、油タンク内の灯油を抜いた後、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をしてください。

アクセサリー（別売品）

アクセサリー（別売品）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1. アクセサリー（別売品）

No.	部品番号	部品名称	員数／台	仕様
1	03113301010	サーモスタット（高温用）	1	20℃～110℃
2	03107226010	サーモスタット（低温用）	1	10℃～30℃
3	03107226020	サーモスタット（低温用）	1	0℃～20℃
4	03040081010	サーモスタット（防湿型）	1	5℃～40℃
5	03037841010	タイマ	1	

※必ず純正部品を使用してください。使用の際は、部品に付属の取扱説明書をよく読んで使用してください。

2. サーモスタット・タイマの接続のしかた

サーモスタットまたはタイマを接続するときは、部品に付属の取扱説明書をお読みのうえ、次のように接続してください。運転のしかたは、部品に付属の取扱説明書を参照してください。

(1) スイッチパネルのサーモ接続口に取り付けられている短絡プラグを外す。

(2) サーモスタットまたはタイマのプラグを、サーモ接続口に差し込む。

重要事項

●サーモ接続口に、その他のプラグを差し込んだり、電圧を印加したりしないでください。故障します。

●サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部は、温風が直接当たる所に置かないでください。頻繁に ON（燃焼）／OFF（消火）を繰り返し、故障の原因になります。

アフターサービス

■保証について

・巻末が保証書となっています。大切に保管してください。

・保証期間中でも消耗部品等は有償となる場合があります。保証書をよくお読みください。

・保証期間経過後は有償修理となります。修理箇所および修理内容や経過年数によっては新規購入をおすすめする場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

■点検・修理を依頼される前に

・「異常のとき」（☞22、23 ページ参照）に従い確認、処置をしてください。

・その上で改善しない場合、またはご不明な点がある場合は、ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

■補修用性能部品について

・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

・この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 7 年です。

■アフターサービスの依頼

・点検、修理のお申しつけのときは、巻末の「点検・修理依頼シート」にご記入いただき、販売店にお渡しください。

仕様

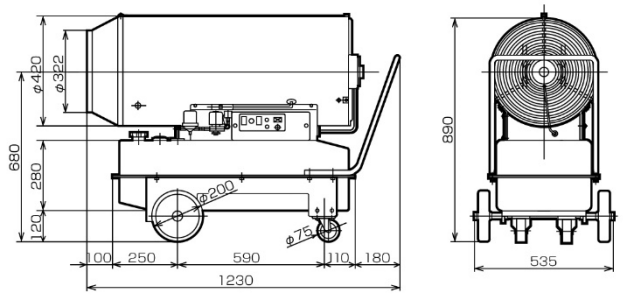
HPS830A1

■仕様表

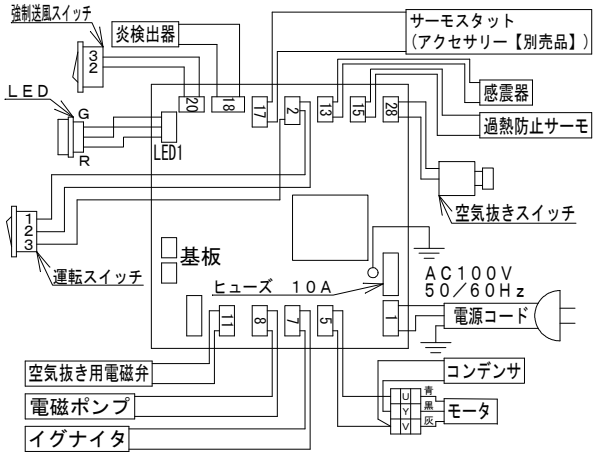
種類	熱風式直火形
形式	HPS830A1
定格電圧および周波数	単相　100V 50/60Hz
定格消費電力（50/60Hz）	点火時　360/470W、燃焼時　325/430W
熱出力	97.2kW
燃料消費量	10.0L/h
熱風吹出量（50/60Hz）	35/40m³/min
使用燃料	JIS 1号灯油
運転音（50/60Hz）	74/78dB
油タンク容量	80L
燃焼持続時間	8時間
製品質量（油タンク空時）	60kg
使用温度範囲	-20～40℃
燃焼方式	高圧噴霧式
ダクト口径	φ430以上
電源コード長さ	4.5m
安全装置	対震自動消火装置
	点火安全装置
	停電安全装置
	過熱防止装置
	過負荷保護装置（ヒューズ）
	高電圧停止装置
	低電圧警報装置
ヒューズ	ガラス管ヒューズ（φ5.2×20mm,125V・10A）
周波数切替※	必要
外形寸法	高さ890㎜×幅535㎜×奥行1230㎜

※使用地域の周波数とヒーター本体の仕様プレートに記載されている周波数が異なる場合は、切替作業が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■外形寸法図　単位（mm）



■配線図



＊ご記入日　　年　　月　　日

点検・修理依頼シート

※この用紙をコピーしてお使いください
※＊は必須項目

お客様情報	＊会社名	フリガナ		
	＊部署名		＊お名前	フリガナ
	＊電話番号		FAX	
	携帯番号		メールアドレス	
	＊ご住所	〒　　ー 都・道 府・県　　郡・区・市		
		ビル名　棟・階		
購入先販売店情報	＊会社名			
	ご担当部署		＊ご担当者指名	
	＊電話番号		FAX	
ご依頼製品情報	＊MODEL（型式）		＊SERIAL No.（製造番号）	
	＊LIST No.（特注番号）		仕様書 No.	
	納入日		＊不具合発生日	年　月　日
	＊設置状況	☐ 屋内　☐ 屋外　☐ クリーンルーム	クリーンスーツ借用　可　・　否	
		☐屋根有り　☐ 高所　具体的な場所		
	＊ご依頼内容（不具合情報）	エラー番号［　　］		

＊希望修理依頼	☐ 出張修理	☐ 引取修理	☐ 持込修理	☐ 送付修理
	☐ 土日、祭日指定	☐ 時間指定有り　AM・PM　時　分 ～　時　分		

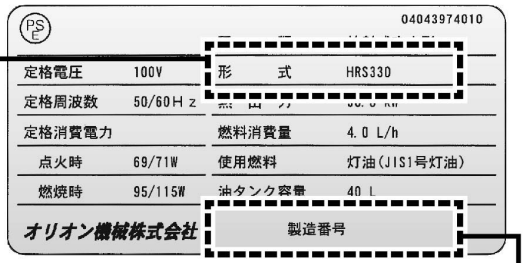
出張修理入門条件	＊事前入場書類	☐ 必要　☐ 不要	必要枚数：（　）枚程度	連絡事項	
	＊講習	☐ 必要　☐ 不要	☐ 事前　☐ 当日	事前講習時間　時間　分	
	＊持ち物	ヘルメット・帽子・安全帯・脚絆・安全靴・保護メガネ・耳栓・内履き・クリーンスーツ・防塵マスク 防毒マスク・その他（　　）			
	立会者	☐ 有　☐ 無	会社名	氏名	
＊工事写真	☐ 必要　☐ 不要	書式指定　☐ 有　☐ 無			
＊事前見積り要否	☐ 必要　☐ 不要				

注意事項
●記載内容が不足している場合は、修理受付不可となる場合がございますのでご了承願います。
●修理のご依頼はご購入先販売店にご連絡をお願いします。ご連絡時に必ず本紙もお渡しください。
●修理品をお送りいただく際の送料はお客様ご負担とさせて頂きます。
●点検費はお客様ご負担とさせて頂きます。
●点検後、修理不可となった場合でも点検費はお客様ご負担とさせて頂きます。
●メーカー以外の改造が有る場合は修理が出来ない可能性がございます。
●お客様にて分解された場合は修理が出来ない可能性がございます。
●販売から長期間経過している製品は修理が出来ない可能性がございます。

Excel シート　Word シート
https://www.orionkikai.co.jp/contact/repair/

点検・修理依頼シート記入例

仕様プレート（ジェットヒーターなど）



仕様プレートはキャビネットに貼り付けてあります。
正確に記入をお願いします

修理実施にあたって
お客様にご確認のため
お電話で連絡させて
いただく事があります。
確実に連絡のつく番号を
ご記入ください

購入先が分からない場合は
修理に時間が掛かる場合が
有ります。
また出来ない場合が
有ります

機器の設置環境や不具合
内容について出来るだけ
詳しく記入ください。
設置場所や、不具合内容に
よっては修理作業時に
複数名の作業員が必要と
なる場合や作業が困難な
場合が有ります

入門条件は日程調整や
訪問時スムーズな対応が
できずお客様にご迷惑を
お掛けしない為にも必ず
ご記入ください

点検・修理依頼シート

※この用紙をコピーしてお使いください
※＊は必須項目

お客様情報	＊会社名	フリガナ ○○○○カブシキガイシャ ○○○○株式会社		
	＊部署名	設備課	＊お名前	フリガナ ナガノ タロウ 長野 太郎
	＊電話番号	03－1234－××××	FAX	03－1234－△△△△
	携帯番号	090－1234－××××	メールアドレス	
	＊ご住所	〒382 ― ○○○○ 長野 都・道府・県 須坂 郡・区・市 幸高○－○－○ ビル名 棟・階		
購入先販売店情報	＊会社名	株式会社○○○○		
	ご担当部署		＊ご担当者指名	東京 太郎
	＊電話番号	03－1234－××××	FAX	03－1234－△△△△
ご依頼製品情報	＊MODEL（型式）		＊SERIAL No.（製造番号）	
	＊LIST No.（特注番号）		仕様書 No.	
	納入日	20×× 年 ×× 月 ×× 日	＊不具合発生日	20×× 年 ×× 月 ×× 日
	＊設置状況	☐ 屋内 ☑ 屋外 ☐ クリーンルーム クリーンスーツ借用 可 ・ 否 ☐ 屋根有り ☑ 高所 具体的な場所 3階建ての屋上に設置		
	＊ご依頼内容（不具合情報）	エラー番号［E△△△］ エラー番号 E△△△が発生し停止。リセットを行い運転させるも数分で再発。		
＊希望修理依頼		☑ 出張修理 ☐ 引取修理 ☐ 持込修理 ☐ 送付修理 ☐ 土日、祭日指定 ☑ 時間指定有り AM・PM 5 時 00 分 ～ 時 分		
出張修理入門条件	＊事前入場書類	☐ 必要 ☑ 不要 必要枚数：（ ）枚程度 連絡事項		
	＊講習	☐ 必要 ☑ 不要 ☐ 事前 ☐ 当日 事前講習時間 時間 分		
	＊持ち物	ヘルメット・帽子・安全帯・脚絆・安全靴・保護メガネ・耳栓・内履き・クリーンスーツ・防塵マスク 防毒マスク・その他（ ）		
	立会者	☐ 有 ☑ 無 会社名 氏名		
＊工事写真		☐ 必要 ☑ 不要 書式指定 ☐ 有 ☐ 無		
＊事前見積り要否		☑ 必要 ☐ 不要		

注意事項
●記載内容が不足している場合は、修理受付不可となる場合がございますのでご了承願います。
●修理のご依頼はご購入先販売店にご連絡をお願いします。ご連絡時に必ず本紙もお渡しください。
●修理品をお送りいただく際の送料はお客様ご負担とさせて頂きます。
●点検費はお客様ご負担とさせて頂きます。
●点検後、修理不可となった場合でも点検費はお客様ご負担とさせて頂きます。
●メーカー以外の改造が有る場合は修理が出来ない可能性がございます。
●お客様にて分解された場合は修理が出来ない可能性がございます。
●販売から長期間経過している製品は修理が出来ない可能性がございます。

Excel シート Word シート
https://www.orionkikai.co.jp/contact/repair/

お客様情報について

「点検・修理依頼シート」に記載いただきましたお客様の個人情報は細心の注意をもって管理いたします。この情報は機器の修理、製品およびサービスの品質向上、修理に関係する問合せ、アンケート調査等に利用させて頂きます。また、この目的のためにオリオン関連会社または業務委託先などに提供する場合が有りますのでご承知おきください。

メモ

保　証　書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1. 保証期間

お買い上げ後１年間

2. 保証範囲

(1) 上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要す場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。

(2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。

(3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）とさせていただきます。

①仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障

②当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障

③当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障

④当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障

⑤取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障

⑥消耗部品（点検および定期交換部品）の交換

⑦火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障

⑧当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障

⑨腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障

(4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3. 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4. 用途限定

(1) 本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。

(2) 本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがいまして、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。

①原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途

②電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途

オリオン機械株式会社

オリオン機械株式会社

https : // www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ･資料請求は

お客様相談センター

sijo@orionkikai.co.jp

フリーコール 0120-958-076

受付時間　平日 9 時～ 17 時

FAX 026-246-6753

本　社・工　場	〒382-8502	長野県須坂市大字幸高 246
須坂インター工場	〒382-8503	長野県須坂市大字井上 1300
更　埴　工　場	〒387-0007	長野県千曲市大字屋代 1291
千　歳　工　場	〒066-0077	北海道千歳市上長都 1051-16

北海道オリオン株式会社(札幌)	011-865-3666	オリオン機械株式会社(沼津)	055-929-0155
中央オリオン株式会社(盛岡)	019-641-4554	オリオン機械株式会社(浜松)	053-464-4737
中央オリオン株式会社(仙台)	022-284-0691	オリオン機械株式会社(刈谷)	0566-62-4377
中央オリオン株式会社(郡山)	024-963-1051	オリオン機械株式会社(名古屋)	0587-21-1717
オリオン機械株式会社(東京)	03-6811-7711	オリオン機械株式会社(金沢)	076-263-1881
オリオン機械株式会社(横浜)	045-934-7011	オリオン機械株式会社(大阪)	06-6305-1414
オリオン機械株式会社(千葉)	043-221-7788	オリオン機械株式会社(京都)	075-646-3939
オリオン機械株式会社(太田)	0276-46-7678	オリオン機械株式会社(神戸)	078-945-5508
オリオン機械株式会社(さいたま)	048-783-3975	オリオン機械株式会社(岡山)	086-246-3501
オリオン機械株式会社(宇都宮)	028-688-0020	オリオン機械株式会社(広島)	082-264-4535
オリオン機械株式会社(つくば)	029-850-3633	オリオン機械株式会社(高松)	087-835-1367
オリオン機械株式会社(新潟)	025-257-7006	西日本オリオン株式会社(福岡)	092-477-8480
オリオン機械株式会社(長野)	026-248-2428	西日本オリオン株式会社(熊本)	0968-38-7311
オリオン機械株式会社(諏訪)	0266-58-7535	西日本オリオン株式会社(鹿児島)	099-263-5275

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買いあげ日		製 造 番 号	
販　売　店　名		店名 電話（　　）　　－	

K No.7792 2025.06.05 TG N.T

ORION

進化したジェットヒーター
JET HEATER
SINCE 1965

取扱説明書

ジェットヒーター用オプション部品

タイマ

●この製品は「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。
●この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
●取扱説明書は必ず保管しておいてください。

03108648010

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のため必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項は、⚠ 危険　⚠ 警告　⚠ 注意に区分して表示してあります。

危険　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの

また、⚠ 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	⚠記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
重要事項	[　　]記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。

もくじ

⚠安全のため必ずお守りください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
使用前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
使い方 ・・8
点検のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
アフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
仕様 ・・・9

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（警告／注意）

⚠警告

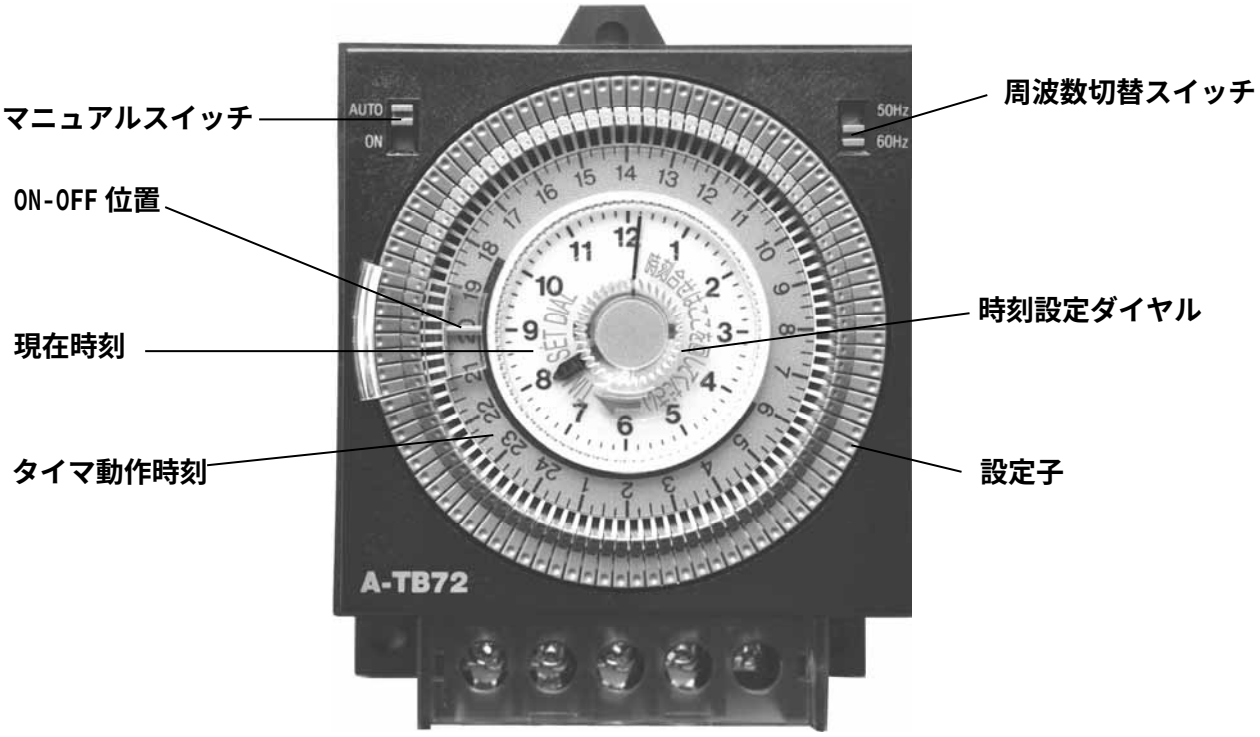
	タイマを接続する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
	バーナーカバーやバーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟みこまないようにしてください。 感電の恐れがあります。(Ｂタイプ, Ｃタイプの接続コードの場合) **タイマは防滴、防塵構造ではありません。水や塵埃のかからない場所へ設置してください。** 漏電の恐れがあります。

⚠注意

	タイマは丈夫な壁等に固定してください。 落下してけがをする恐れがあります。 **タイマを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。** 火災の原因になります。 **タイマが正しく作動する事を定期的に点検してください。** 予期せぬ温度の低下・上昇の恐れがあります。 **対象物の特性に合わせ、安全装置を設置してください。** タイマの誤作動やヒーターの故障等により、予期せぬ温度の上昇・低下の恐れがあります。対象物の特性に合わせて、安全装置を設置してください。 **ヒーターの熱風又は赤外線があたる場所に取り付けしないでください。** 過熱してタイマの焼損や火災などの原因となります。

各部のなまえ

■各部のなまえ(保護カバーを取り外した状態)

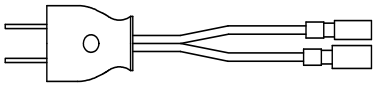


接続方法

1.接続コードを選ぶ

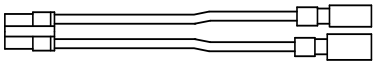
お使い頂いているヒーターの機種によって、タイマ本体とヒーターの間を接続するコードが異なります。
同梱されている４種類の接続コードから選んでください。

①Ａタイプの接続コード



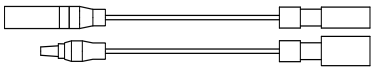
適用機種
HPS80C，HPS80D，HPC80，HP160，HPE150A，HPS250C，HPS250D，HPE250，HPS310D-L，HPS310E-L，HPS310F-L，HPE310-L，HP350-L，HPS310D，HPS310E，HPD36-L，HPS360，HPE370，HPS830，HPS830A，HS270-L，HS290-L，HEA170D，HEA170E，HEA170D-B，HEA170E-B

②Ｂタイプの接続コード



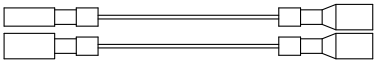
適用機種
HR120C，HR120D，HR220A，HR220A-L，HR330F，HR330G，HR330H，HRS330，HR330D-L，HR330E-L

③Ｃタイプの接続コード



適用機種
HPE80，HPE80A，JH80A

④Ｄタイプの接続コード

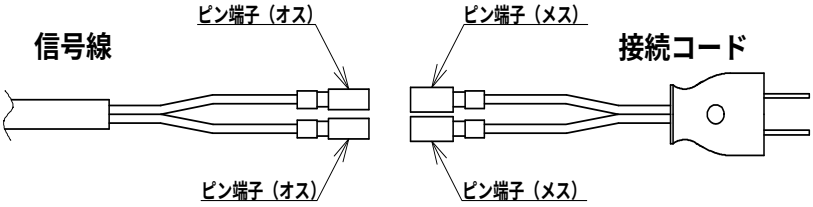


適用機種
上記以外の機種（必要に応じてご使用ください）

2.接続コードとタイマ本体の接続

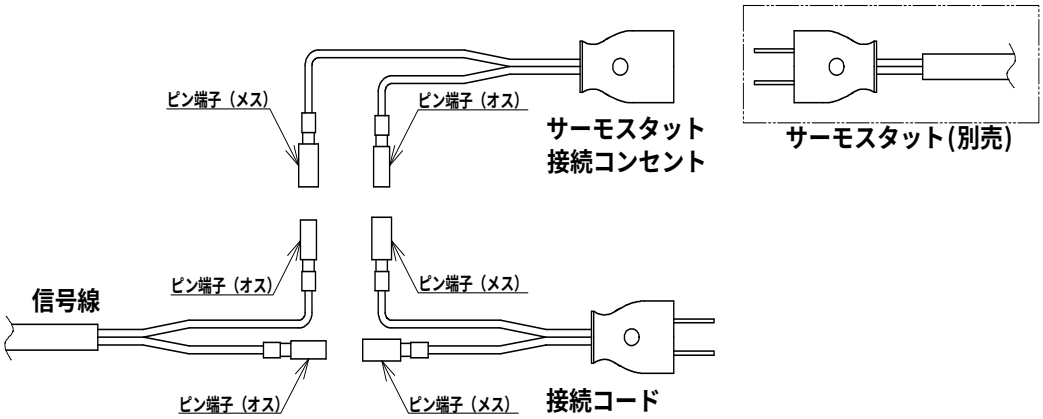
(1) タイマだけを使用する場合

選んだ接続コードのピン端子をタイマ本体のピン端子と接続してください。



(2) タイマとサーモスタットを同時に使用する場合

選んだ接続コードと同梱のサーモスタット接続コンセントをタイマ本体のピン端子に接続してください。



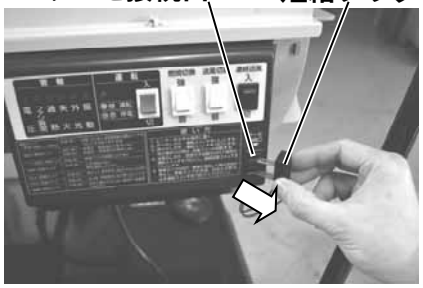
使用前の準備

接続方法

3.タイマとヒーターを接続してください。

(1) Ａタイプの接続コードの場合（写真は HPE370 の場合）

①短絡プラグを外す。
スイッチパネルのサーモ接続口に付いている短絡プラグを取りはずす。

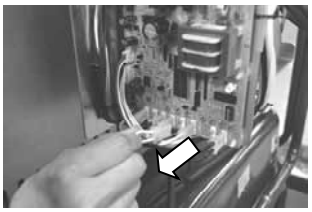


②タイマのプラグを接続口に差し込む。
タイマに取り付けた接続コードのプラグをサーモ接続口へ差し込む。

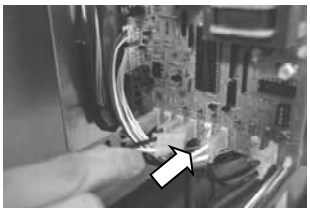
(2) Ｂタイプの接続コードの場合（写真は HR330E-L の場合）

①バーナーカバーをはずす。
（HR330H，HRS330 の場合はバーナー点検蓋）

②短絡コードをはずす。
バーナーコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されている短絡コードを取りはずす。
（HR330H，HRS330 の場合は「タイマ」端子台）



③タイマに取り付けた接続コードのコネクタを「サーモスタット」端子台へ差し込む。
（HR330H，HRS330 の場合は「タイマ」端子台）

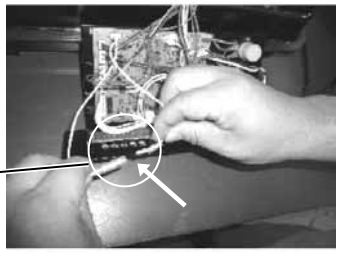


④バーナーボックスカバーを取り付ける。
（HR330H，HRS330 の場合はバーナー点検蓋）

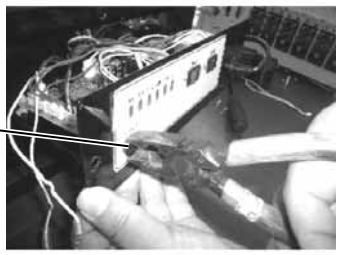
(3) Cタイプの接続コードの場合

①コントロールボックスを開ける。

②バーナコントローラの「サーモスタット」端子台に
接続されているサーモ端子の接続部を外す。



③コードブッシュをコントロールボックスからペンチ
等で外す。



④サーモ端子をコードブッシュではさみ込み、コード
ブッシュを元の位置に取り付ける。

⑤タイマに取り付けた接続コードをサーモ
端子へ差し込む。

タイマ本体の設置

1.外形寸法図（10ページ参照）を確認し、壁等に固定する。
(1) 表面取り付け
M4ネジまたは木ねじ3.8×16（3本）をご使用ください。
(2) DINレール取り付け
35mmDINレールをご使用ください。

使い方

運転方法

運転方法

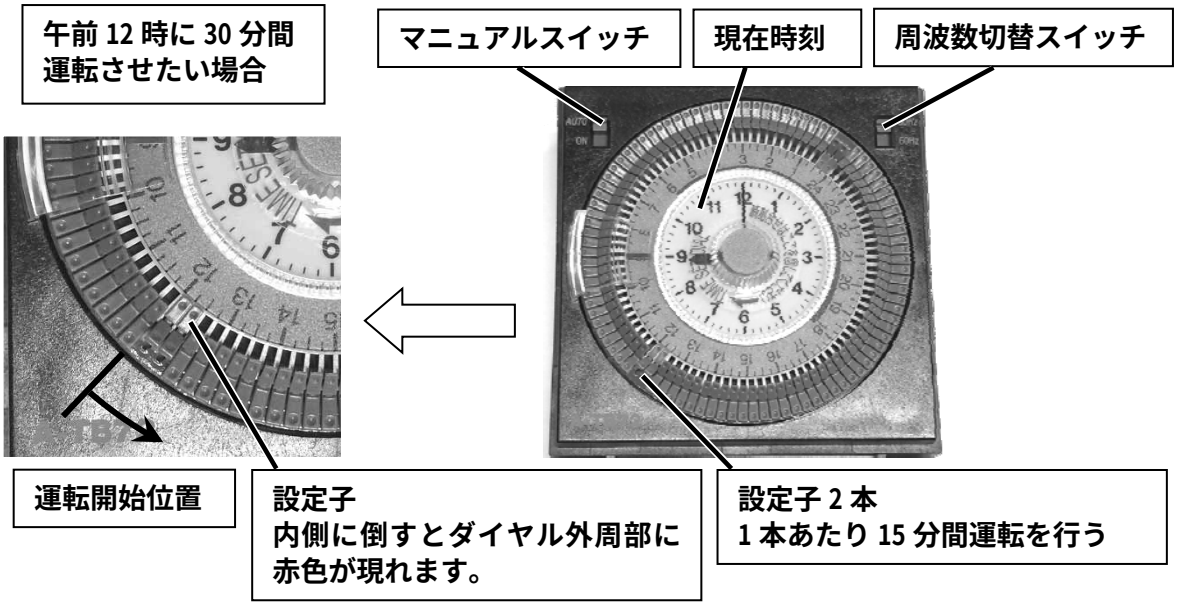
1．電源周波数を設定してください。
　正面右上の周波数切替スイッチをマイナスドライバー等先細なもので切り替えてください。

2．現在時刻を合わせてください。
　必ず時刻設定ダイヤルを矢印方向（右）に回してください。

3．動作時刻を設定してください。
　ON 設定：タイマの設定子を内側に倒す。ダイヤル外周部に赤色が現れます。
　OFF 設定：タイマの設定子を外側に倒す。ダイヤル外周部の赤色が隠れます。
　●設定子はクリックアクション「カチッ」音があるまで十分倒してください。
　●ツメ 1 本で 15 分間運転します。

4．マニュアルスイッチを設定してください。
　タイマによる運転と停止を行うには、「AUTO」にセットしてください。
　「ON」にセットした場合、設定子の動作時刻のセットに関係なく ON 状態になります。

■設定例
周波数：50Hz
時計：AM9：00 を示しています。
運転開始時刻：12 時、24 時に設定されています。
運転時間：30 分間運転します。



⚠ 注意

●タイマを取付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

重要事項

●炎監視装置が装備されていない旧型ヒーターは本タイマを使用できません。

点検のしかた

１ヶ月に１回以上

１ヶ月に１回以上

1.動作の確認

１ヶ月に１回以上、タイマ動作に合わせてヒーターが点火・消火する事を確認してください。

アフターサービス

■ アフターサービスの依頼

・ 点検、修理をお申しつけのときは、次の事項を、お買い上げの販売店にお知らせください。
①製品名（接続のヒーター）　②現象（できるだけ詳しく）　③住所、電話番号

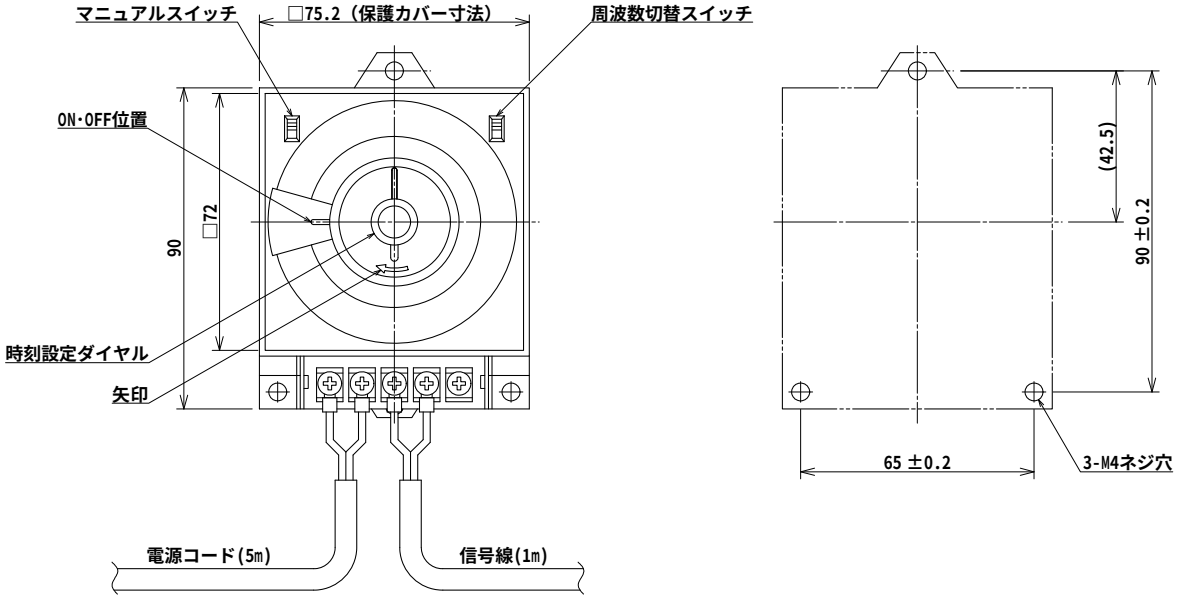
仕様

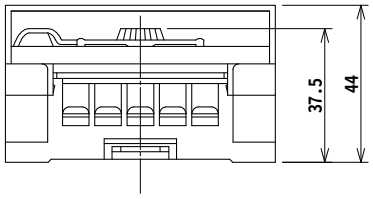
■仕様表

品名	タイマ
品番	03037841010
操作電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
最小設定間隔	15 分
出力切替	手動 ON ／ AUTO（タイマ動作）
消費電力	1.5W 以下
使用周囲温度	-10～+50℃
使用周囲湿度	45～85%RH（at25℃、結露なきこと）
電源線長さ	5m
信号線長さ	1m
付属品	・ヒーター接続コード A タイプ（ジェットヒーター用） B タイプ（ブライトヒーター用） C タイプ（HPE80 系用） D タイプ（その他用） ・サーモスタット接続コンセント ・取扱説明書（本書）

仕様

■外形寸法図


マニュアルスイッチ
□75.2（保護カバー寸法）
周波数切替スイッチ
ON･OFF位置
□72
90
時刻設定ダイヤル
矢印
電源コード(5m)
信号線(1m)
(42.5)
90 ±0.2
65 ±0.2
3-M4ネジ穴


37.5
44

メモ

メモ

メモ

保　証　書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1.保証期間

お買い上げ後１年間

2.保証範囲

(1)上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要す場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。

(2)取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。

(3)保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）とさせていただきます。

①仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障

②当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障

③当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障

④当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障

⑤取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障

⑥消耗部品（点検および定期交換部品）の交換

⑦火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障

⑧当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障

⑨腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障

(4)個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3.保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4.用途限定

(1)本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。

(2)本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがいまして、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。

①原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途

②電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途

オリオン機械株式会社

Product Warranty

This product shall be warranted as follows. For warranty repairs, please contact the dealer where the product was sold after confirming the product model and serial number.

1. Warranty Period

(1) One year from the date of purchase.

2. What Is Covered by this Warranty

(1) If breakdown occurs within the above warranty period and the cause of the breakdown lies with ORION, then the damaged part(s) will be replaced or repaired by ORION free of charge. Note that depending on the country/region where the product is being used, repairs may take more time or be impossible. Please consult with your dealer in advance regarding service and repair options for products to be operated outside of Japan.

(2) In principal, the owner of the product will confirm diagnosis of the breakdown according to the operating manual. However, there might be cases where this work may be carried out instead by a member of ORION's service network. In such cases, there will be no charge where the cause of the breakdown lies with ORION.

(3) Note that even during the warranty period, there will be costs incurred by the user (outside the warranty) in the following cases:

① Breakdown resulting from operating under unsuitable operating conditions, environment, handling, use, or method of operation outside those written in the specifications or operating manual of the product, or as a result of carelessness or negligence on the part of the user.

② Breakdown resulting from non-ORION products (user's own equipment or software design, etc.).

③ Breakdown resulting from repairs or modifications conducted by non-ORION designated contractors.

④ Breakdown which could be recognized as being avoidable in cases where an ORION product is used in conjunction with the user's equipment where the user's equipment is legally regulated to have a safety device whereby inclusion of the safety device could have averted breakdown, or in cases where the addition of function, structure, etc., could have, according to common knowledge of the industry, averted breakdown.

⑤ Any breakdown which is recognized as being avoidable had normal fixed term inspections, and/or normal maintenance and replacement of consumables, been performed as indicated in the operating manual, etc.

⑥ Replacement of consumables (parts to be replaced at fixed terms or based on inspection).

⑦ Breakdown due to external factors beyond human control such as fire etc., or breakdown resulting from natural disaster such as earthquake, lightning, storm and flood damage, etc.

⑧ Breakdown due to reasons unforeseeable due to the technological standard at the time the product was shipped from ORION.

⑨ Any breakdown resulting from corrosion caused by operating the product in an atmosphere that contains corrosive gases, organic solvents, chemical solutions, etc., or in an environment where such substances could come into contact with the product.

(4) In cases where a separate contract, etc. has been established, that contract will take priority..

3. Warranty Obligation Exclusions

Regardless of the warranty period, compensation for any of the following will not fall under the obligations of this warranty: any hindrance or accident compensation resulting from reasons not under ORION's obligations; any lost opportunities, lost profit, secondary losses, damages to non-ORION products incurred by users resulting from the breakdown of ORION products; and any replacement work, readjustment of on-site machinery and equipment, and operating work by users.

4.Product Use Limitations

(1) When using ORION products in connection with important facilities, be sure to establish backup and/or failsafe measures so that even in the event of breakdown of such products, such breakdown will not lead to serious accidents or losses.

(2)ORION products are designed and produced as general purpose equipment to be used in general industrial applications. Therefore, this warranty will not apply when used in the following applications: However, in cases where the customer/user takes full responsibility and confirms the performance of the product in advance, and takes necessary safety precautions, please consult with ORION and we will consider if use of the product in the desired application is appropriate.

①Atomic energy, aviation, aerospace, railway works, shipping, vehicles (cars and trucks), medical applications, transportation applications, and/or any applications where it might have a great effect on human life or property.

②Electricity, gas, or water supply systems, etc. where high levels of reliability and safety are demanded.

ORION MACHINERY CO., LTD.

C

オリオン機械株式会社

http : // www.orionkikai.co.jp

サービスに関するお問い合わせは

CSセンター TEL 026-245-1263 FAX 026-245-5358
〒382−8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail : sijo@orionkikai.co.jp

●北海道地区統括	北海道オリオン株式会社	TEL 011-865-3666
●東北地区統括	東北オリオン株式会社	TEL 022-284-0691
●北関東地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 0276-46-7678
●南関東地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 045-934-7011
●甲信越地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 026-248-2428
●東海・北陸地区統括	中部オリオン株式会社	TEL 0587-21-1717
●近畿・中四国地区統括	関西オリオン株式会社	TEL 06-6305-1414
●九州地区統括	西日本オリオン株式会社	TEL 092-477-8480

本社・工場 〒382−8502 長野県須坂市大字幸高246
更埴工場 〒387−0007 長野県千曲市大字屋代1291
千歳工場 〒066−0077 北海道千歳市上長都1051−16

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名 電話（　　）　　−	

K No.2329 20161114 C T.G. J.F.